



[戸建]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE柏[戸建](2010年版)

■使用評価ソフト: CASBEE-kashiwa_H(DH)_2010.v.1.2

1-1 建物概要

建物名称	(仮称)フレスコアリーナ南柏	
竣工年月	2013年3月	予定
建設地	千葉県柏市豊四季字世原339-56,340-7	
用途地域	準工業地域	確定
省エネルギー地域区分	IV	
構造・構法	木造・軸組構法	確定
階数	地上2F	
敷地面積	120 m ²	確定
建築面積	54 m ²	確定
延床面積	98 m ²	
世帯人数	4	仮

仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	確定 仮 確定
<備考>		
評価の実施日	2012年11月19日	
作成者	金井 琢哉	
確認日	2012年11月26日	
確認者	野田 将樹	

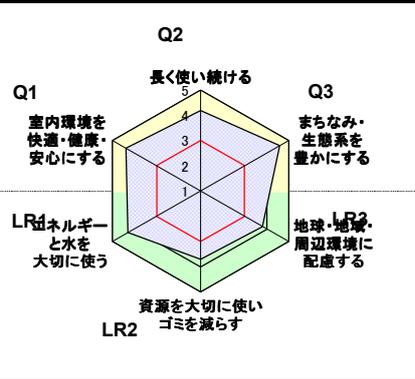
1-2 外観



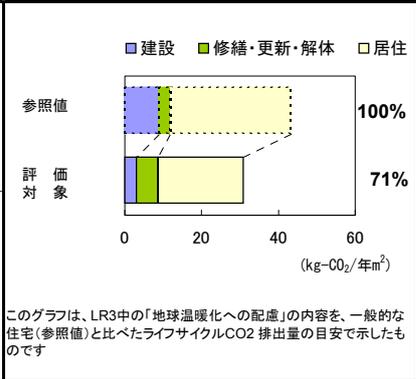
2-1 すまいの環境効率(BEEランク&チャート)



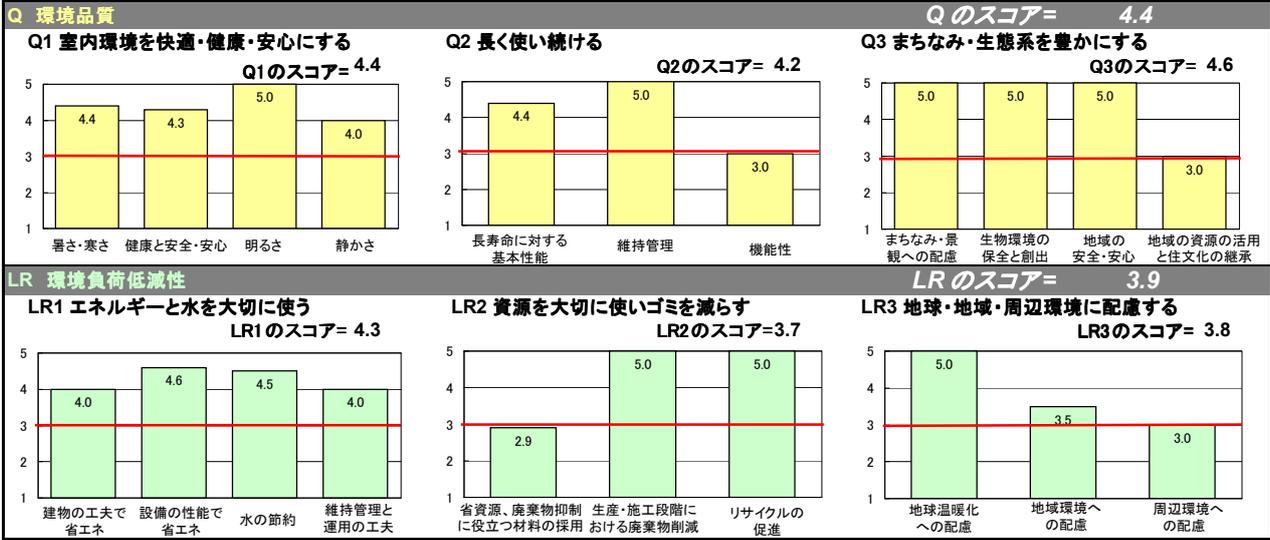
2-2 大項目の評価(レーダーチャート)



2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合 柏市豊四季の郊外に建つ2階建ての本住宅は、全15棟で形成される分譲地内の1棟である。次世代省エネルギー基準を始め、多くの省エネ設備、劣化対策等級3を満たすなど、躯体の長寿命化にも配慮された住宅としている。また、沿道の積極的な緑化を行い、街区の街並み調和が取れるよう配慮している。		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする 次世代省エネ基準として高効率冷暖房設備の採用、主要窓の両面窓による積極的な屋光利用やF☆☆☆☆建材等の化学物質対策など室内環境性能について配慮している。	Q2 長く使い続ける 乾式工法や通気工法による躯体の超寿命化と耐震に配慮した設計、給水及び排水ヘッダー方式によるメンテナンス容易性などの建物への配慮の他に、グループ会社による各種住宅情報の管理とアフターメンテナンス体制を取っている。	Q3 まちなみ・生態系を豊かにする 常緑樹や落葉樹等、野鳥が餌と出来るような食餌木を分譲地内に植栽し、同時に保水性のある砂利敷き等を活用することによって、小さな生き物が生息できるよう配慮している。
LR1 エネルギーと水を大切に使う 次世代省エネ基準として、高効率冷暖房機器、断熱型浴槽、節水型便器・節水型水栓、エコジョーズ、エネルギー表示機器等による建物及び設備の省エネ化を図るとともに、入居者への住まい方情報の提供等により省エネに配慮した住宅としている。	LR2 資源を大切に使いゴミを減らす グループ会社の工場による構造材・ハガラ材のプレカット化や、施工現場での分別回収に加え、材料生産工場でのリサイクル化により、廃棄物の削減、環境負荷の抑制に努めている。	LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する 外構計画において、植栽や芝、砂利敷きを多用して雨水の地下浸透に努め、高木・低木を配して周辺熱環境の改善を図り、地域の水循環に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency (建築物総合環境性能評価システム)
 ■Q: Quality (すまいの環境品質), L: Load (すまいの環境負荷), LR: Load Reduction (すまいの環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (すまいの環境効率)
 ■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい(戸建)の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
 ■「ライフサイクルCO₂」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q_H、LR_H中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■CO₂の算出条件等については、CASBEEホームページ「CASBEE評価」の「評価」の項目を参照してください

